

2分割コンパクト6輪電動車いす

ネオ
NEO-PR

最高時速4.5km/h

NEO-PR45

最高時速6.0km/h

NEO-PR60

電動リクライニング6輪車いす

ネオ
NEO-PRリクラ

最高時速4.5km/h

NEO-PRリクラ45

最高時速6.0km/h

NEO-PRリクラ60

新仕様充電器 取扱説明書



(使用前に必ずご確認ください)

NEO-PR及びNEO-PRリクラは、充電器の仕様に変更されています。

お買い上げのNEO-PR及びNEO-PRリクラの充電器についてのご説明や取扱い上の注意事項につきましては、本紙でご確認ください。

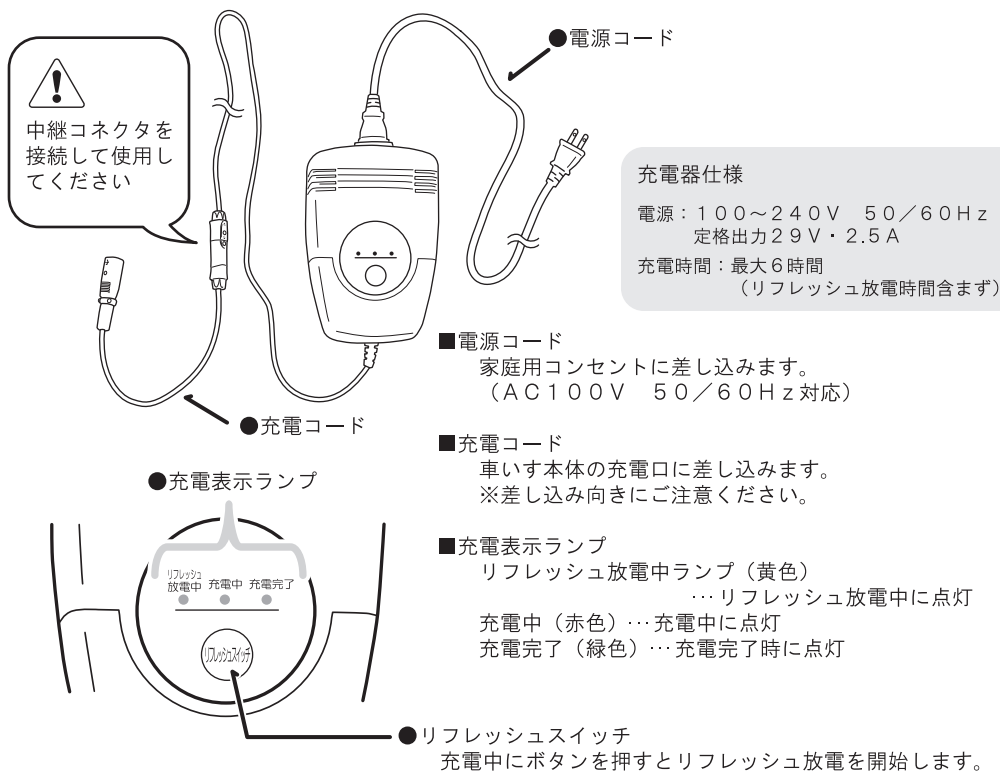
目次

- 充電器の説明・・・・・・・・・・ P 2
- リフレッシュ放電・・・・・・・・ P 2
- 充電のしかた・・・・・・・・・・ P 3
- 充電についての注意事項・・ P 4

本紙は製品の取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

日進医療器株式会社

充電器の説明



リフレッシュ放電

NEO-PR/NEO-PRリクラのバッテリーは、ニッケル水素電池を使用しています。「走行距離が短くなった」と感じる状態になりましたら、メモリー効果※の影響による場合があります。一度以下の手順で充電を行ってください。

●メモリー効果の除去方法

1. 次頁「充電のしかた」の手順（1～4）に従って充電を開始します。
2. 充電が開始されたら、すぐにリフレッシュスイッチを押します。
3. リフレッシュ放電中ランプ（黄色）が点灯し、放電が開始されます。
4. リフレッシュ放電後、自動的に充電が開始されます。
(注意) 満充電の状態からリフレッシュ放電を行いますと、最大18時間が必要です。できるだけバッテリー残量が減った状態からリフレッシュ放電を行うようにしてください。

※メモリー効果・・・バッテリーの残量が充分に残っている状態で充電することを繰り返すと、バッテリーの容量が見かけ上、少なくなったような状態になる現象です。

このような場合にリフレッシュをおすすめします。

- 「最近、バッテリーの減りが早くなった」と感じたとき。
- 2ヶ月以上製品を使用しなかったとき。

警告

感電のおそれがあります。濡れたプラグや、濡れた手で充電しないでください。

つぎのような場所では充電しないでください。

- 雨露を受ける場所
- 湿気の多い場所

充電器の分解や改造は、故障や火災の原因となりますので絶対にやめてください。



充電のしかた

1. 車いすの左右のクラッチレバーを下げて、電源スイッチを「切」にし、駐車状態にしてください。
2. バッテリー単体で充電する場合は、バッテリーのロック解除レバーを握りながら、バッテリーをバッテリーボックスからはずかに取り出します。
3. 充電器の電源コードを家庭用コンセントに差し込み、充電コードをバッテリーの充電口に差し込みます。
※バッテリーをバッテリーボックスに装着したまま充電する場合は、バッテリーボックス右側面のフタを回転させると、充電コードをバッテリーの充電口に差し込むことができます。
4. 充電器の電源ランプ（赤色）が点灯します。
5. 充電が完了しましたら、2～3の逆の手順で充電を完了します。

■ 充電ランプの表示色と充電状態

| 黄 | 赤 | 緑 | 意味 |
|---|---|---|---------------------|
| ○ | ● | ○ | 充電中です |
| ○ | ○ | ● | 充電完了です |
| ● | ○ | ○ | リフレッシュ放電中です |
| ○ | ☆ | ○ | バッテリーの温度が上昇し、待機中です。 |

| 記号 |
|------|
| ●：点灯 |
| ○：消灯 |
| ☆：点滅 |

※充電範囲外

バッテリー保護のため、バッテリー温度が0～45℃の範囲外の場合は、充電を開始せずに待機状態となります。適温になりましたら自動的に充電を開始します。

注意

充電が終了しましたら、必ず充電コードを抜き、電源コードをコンセントから抜いて、充電を終了してください。

長時間（24時間以上）、充電をしたままにしないでください。バッテリーの寿命が短くなることがあります。

電源コードや充電コードは、必ずプラグ部分を持って引き抜いてください。コード部分を持ちますと断線の原因になります。

充電についての注意事項



注意

- 購入後、初めてご使用になる前に必ず充電をしてください。
- 必ず専用のバッテリーと充電器をご使用ください。
- 充電する時は、必ず車いすの電源スイッチを「切」にしてください。
※充電中、車いすの電源スイッチを「入」にしても走行できません。
- 雷時は、直ちに充電を中止し、電源コードのプラグを家庭用コンセントから抜いてください。
- 充電時間は、バッテリーの放電状態によって異なります。（最大6時間 ※リフレッシュ充電の時間は含みません。）
- 長期間ご使用にならない場合でも2～3週間に一度は充電してください。
- 冬場など気温が低い場所（0℃以下）では充電することができません。0℃以上（45℃以下）の風通しの良い室内で充電してください。
- 夏場など気温が高い場所で使用した直後のバッテリーは高温になりますので、充電の前に適温まで自然に冷ましてください。
- 各所コネクタが正しく差し込まれていないと充電できません。充電コードは、充電口の奥までしっかりと差し込んでください。
- 充電コードの中継コネクタがしっかりと接続された状態で使用してください。
- コントロールボックスや充電器に衝撃を与えたり、落とさないでください。
- 充電器やコントロールボックスの上に物を置かないでください。
- 充電中は、充電器やバッテリーが40℃以上の高温になることがあります。触れないようにしてください。
- 充電が終了しましたら、なるべくお早めに充電コードを抜いて、充電を終了してください。長時間（24時間以上）充電をしたままにしないでください。バッテリーの寿命が短くなる場合があります。
- 充電器の電源コードや充電コードは、必ずプラグ部分を持って引き抜いてください。コード部分を持ちますと断線の原因になります。
- バッテリーは使用しない時でも残量は少しずつ減っていきます（自己放電）。使用しない場合でも2～3週間に一度は充電をしてください。
- バッテリーの充電口には金属製のものを近づけないようにしてください。また、異物がある場合には、取り除いてください。

本紙は製品の取扱説明書と一緒に
大切に保管してください。

日進医療器株式会社

2017.7.3 第2版 HS-374